

# KSKP BUG<sup>バグ</sup> No.107

発行人／関西障害者定期刊行物協会  
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2  
東興ビル4F  
編集人／〒601-8036 京都市南区東九条松田町62  
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所  
TEL (075) 682-3201  
FAX (075) 682-3330  
http://kyoto-j-works.com/  
Eメール info@kyoto-j-works.com  
編集責任者 大崎雅彦

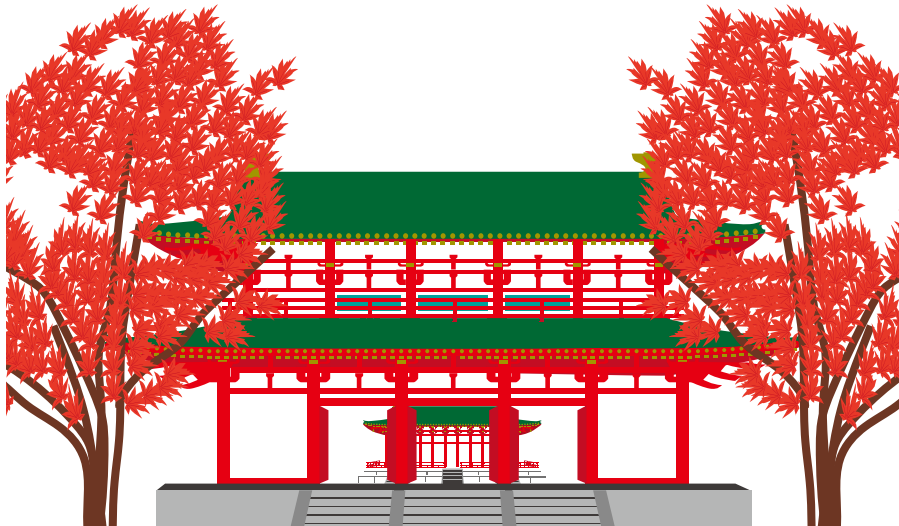


イラスト / えき田大輔

## 目次

### 特集

特集「今さら聞けない?! は・な・し」 ～この業界用語～	2
「2回連続企画」 ～私の自由・自立生活～	3

アートフェスタweb展示のお知らせ / 2024年カレンダー完成しました	5
昭和への旅 その八 「五百円札」	6
イベント報告/ 聖林院みみづく便り	7
あしあと	8



特集「今さら聞けない?! は・な・し」

## ～この業界用語～

知ってる人は知っている

知ってるようで知らない用語が多いこの業界。そんなこんなで秋のおさらいを…。

### 生活介護 せいかつかいご

「生活介護」とは、障がいを持つ介助を必要とする人たちが昼間に活動をする施設などの場所のことである。それぞれの施設で活動内容も違ったりする。お風呂に入ったり、お手洗いにいたり、食事したりすることを中心にするところもあれば、生産活動や創作活動をするところもある。

生活介護は、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことを目的にしている。

### サービス管理責任者 さーびすかんにせきにんしゃ

サービス管理責任者は、障害者福祉サービスを行う事業所で利用者さんの自己決定権（自分や家族でいろんなことを決める）をたいせつにした上で個別支援計画を作成し、スタッフやほかの専門職と連絡を取りあってより良い支援につなげる役割を担っている。通称サビカン。

### 就労継続支援B型 しゅうろうけいぞくしえんびーがた

就労継続支援B型とは、障害を持つ人たちで一般の会社や工場等での仕事が不安だったり、難しかったりする場合に、雇用契約を結ばない（最低賃金を支払わないで）で生産活動などの仕事を行うことができる場所である。

そのため、支払われる給料は「賃金」と呼ばず、「工賃」という。工賃は生産活動の収益（もうけ）の中から払わなければならない。

### 職業指導員 しょくぎょうしどういん

就労継続支援B型事業所の職業指導員は事業所の商品やサービス、仕事の内容に応じて、作業のやり方や作業に必要な知識・技術を具体的に伝えていく。ひとり一人の希望や適性に応じて、働く能力を引き出すことを前提に支援しているのが特徴である。事業所によっては、一般企業の求人に応募するためのサポートを行う場合もある。

なんで、どうして？ あれができて、これができない?!

?!

お手洗いの時に浣腸してもらっただけなのに  
医療行為なので看護師さんをいちいち呼ばないとできないといわれたことがあります。  
おかしいと思いました。  
お互いにストレートに話すことが出来たらいいと思います。  
なんでも遠慮なく話せたらいいと思います。  
暮らしにまだしほりがあると思います。  
お医者さんと看護師さんにはしてもらえらるけど、ヘルパーさんにはしてもらえない事があります。  
僕はもっとヘルパーさんにしてもらえらる事が増えたらいいと思います。  
でも、僕もヘルパーさんにしてもらえらる事と、してもらえない事が僕にもよくわかっていません。  
なんか難しいと思います。  
これからはインターネットなどを使って調べつくして、勉強したいと思います。

鈴木 翔太

## しかるべき覚悟

もし、私が「自立生活」をするようになる時は、それは、自分の身体が不自由になり、手も足も動かなくなり、誰かに面倒を見てもらわなければならない状態になった時かもしれません。本当は、ずっと一人で暮らしたいと思ってる。今は元気だけど、病気になったり、大ケガをしたりしたら、独りではとても暮らせなくなるし、もしそうなった場合は施設へ行かねばしょうがなくなる。

施設に入ったら、人間関係が出てきたり、イヤな事がいっぱいあると思うので、その覚悟は、今からでも心の準備をしておかないと、あとで後悔するような気がする。

ヘルパーさんに世話をしてもらおうようになったら、常に感謝の気持ちを持たねばならない。そうしないとお互いにイヤな思いをするだけだから。

今はあんまり考えたくないけど、もしそうなった場合考えねばならない「しかるべき覚悟」を。

嶺田大輔

## わがままと自由意志の違い

私の日常生活は、ヘルパーさんの支援がなくては成り立たない。居宅介護支援を利用して15年以上になる。ずいぶんと前になるが、忘れられない介助者とのエピソードがある。

新しく入ってくれた方に、21時前後に掃除機をかけてください、とお願いしたことがある。すると、その人は「近所から苦情がくるので掃除機はかけられません」と発言されたのである。自分としては、ちょっとびっくりしたのである。このような体験は初めてであった。

本当は、近所の方に苦情を言われたり、注意されるのは、自分であって介助者ではないのではないかと、とも思うし、もちろん、時間帯や生活騒音にも配慮している。何かあれば自分が直接、出て謝罪する意思を改めて言葉にしてようやく掃除機をかけてもらうことができた。

対応については、賛否はあると思う。

しかし、当時の私としては、すごく馬鹿にされた印象をもっている。自立生活について考える時には、必ず思い出されるエピソードである。

八木俊幸

じ・ゆ・う



書 / 小松満雄

## 閉鎖された環境ではなく地域で暮らすことが大切

アートフェスタの今年のテーマ「自由」という言葉から、それぞれが思う自由な生活(自立生活)を考えるということで、私からはタイトルにもある「閉鎖された環境ではなく地域で暮らすことが大切」について書いてみたいと思います。

私は18歳の秋まで障害もなく普通に地域で暮らしていました。「地域で暮らす」という意識もせずに毎日の生活を送っていたと思います。それが、障害を負ってからの日常が一変しました。まさか自分が、怪我をしてから病院や施設などを8年も転々とするとは夢にも思わなかったです。

施設には5年半ほど入所していましたが、何事にも時間が決まっていて、食事の時間、お風呂の時間、寝る時間もキチンと決まっていました。飲酒も禁止でした。隠れて飲んだ人は謹慎処分もありました。施設というものは、そういうものと言われればそれまでですが……。

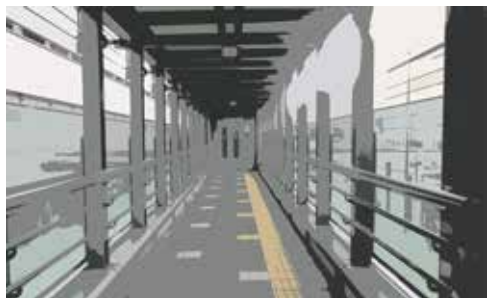
自由に外出することもできなくて許可がなくてはダメでした。家で生活してる時は、外に出るのに許可なんていらなかったのに、障害を負ってしまったら、そういうことにも制限があるというのは複雑な気持ちになりました。規則正しい生活で集団行動には一定のルールは必要と思いますが、長くは居たくないなあと感じました。今のようにスマホやパソコンもなくて情報も少なく、施設の中が閉ざされた感じがしました。当たり前に出るに街に出て、色んなものを見聞きしたり経験したりすることからも遠ざかってしまって、久しぶりに学生時代の友だちと会っても何か話が合わない時期もありました。

幼少の頃から施設に入所されている方は、施設の生活が当たり前でしょうから、あまり違和感を思われなくてもいいかもしれません。私のようにある程度、地域で生活していた者からは、やはり窮屈としか感じなかったです。

私は8年で在宅に戻りました。身体は不自由ですが、食べたいものを好きな時に好きなだけ食べたり、行きたいライブに行ったり、好きなように生活できていることに感謝しています。20数年ぐらい前までは制度の問題で、今のように地域で自由に暮らすことが難しい時代もありました。ありがたいことに先輩方の障害者運動で、介助者派遣制度も確立されてきて、色々な選択肢があると思います。

ただ経済的なことや介助派遣事業所が少なく、地域で生活したくてもできない方々など様々な理由で断念している方もいます。そもそも地域生活ができることさえ知らない人もいます。

現在、慢性的な介助者不足もあり、国の財政支援を増やすなど、可能な限り地域で生活していける人が増えるような社会になればいいなと思います。



山中泰紀

地域・・・自由・・・  
生活・・・自立・・・

芸術の秋ですね。

# ワークス・アートアラカルト ~創作は楽しい~

## JCIL&Works アートフェスタ Art Festa 2023

テーマ「自由(freedom)」  
あなたが自由になれる~時(トキ)、物(モノ)、場所(バシヨ)~

たくさんのご来場ありがとうございました。

今年のテーマは『自由』ということで、「自由」とは何なのか？今回は少しハードルが上がったような感じがした方もいたと思います。どういう風にしようか、どういう表現を出そうか、どうやったらお客様を感動させられるのか、満足させられるのか、悩みながら作品に挑んででしょう。

自由な時、自由な物、自由な場所、そう考えながら作品に挑んでいた方や、中には自由になりたい、自由でいたいという考えで、それぞれの発想力や想像力を発揮しながら作品に挑んでいた方もいらっしゃると思います。私も会場まで足を運び、それぞれの作品を拝見させていただきました。

どれを見ても、「自由」があって、みんな素晴らしい作品ばかりでした。中には物凄く丁寧に描かれた絵画や丁寧に作りあげた立体物があって、よほどの根気強さを感じられました。

来年もまた、テーマはわからないが、作品に挑んでいこうと思います。 嶺田大輔

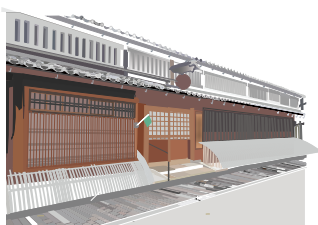


\*.....\* ★10月31日よりweb展示いたします。ワークスホームページへどうぞ。

2024 works calender

## 恒例 2024年 令和6年 ワークスカレンダー

### ★ 完成しました! ★



邪魔くさい事になるなあと思いながら少しずつでも進めました。



2024年のカレンダーができました。今回のカレンダーは計8作。中には同じ人が他の所員とコラボして作られたカレンダーも数点あります。毎度毎度メンバーのカレンダーも見る訳ですが、本当にこんな絵をPCで描いたの？スゲーって思うのです。この感想は人それぞれ違うと思いますけども。

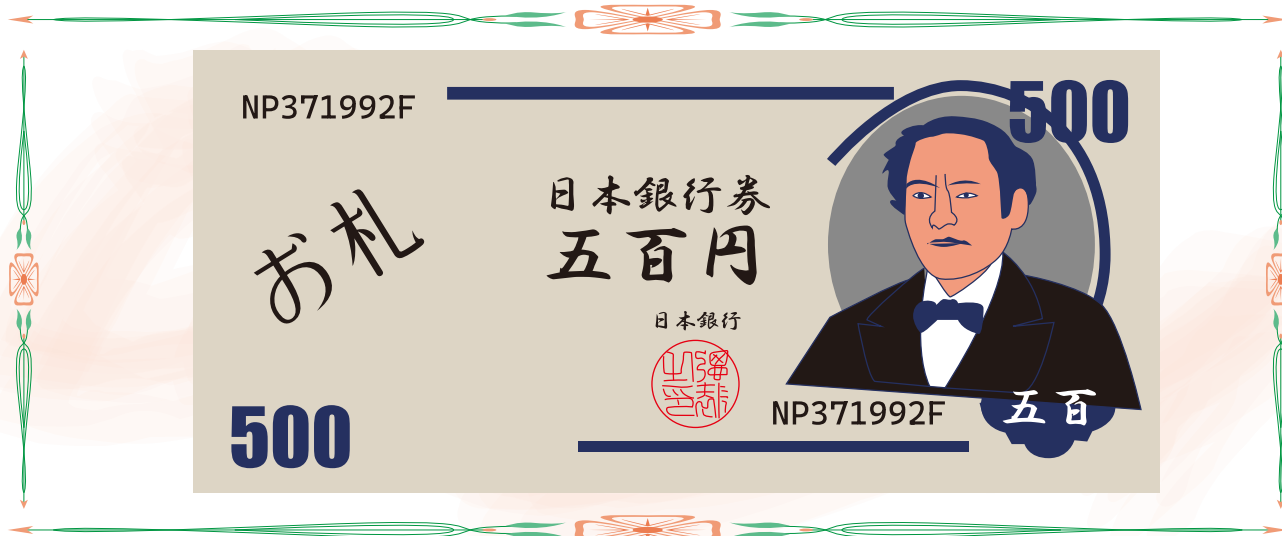
ワークスのカレンダーは、当初から出している卓上カレンダー（B6サイズ）とワークスでいうところの1枚ものカレンダー（A2サイズ）の2種類。当作業所のホームページからご覧頂けます。

かくいう私も数年前からイラスト作成をやり始めました。今年のイラストは私がこれまで描いてきた中で、1番の大作と言える作品?!です。今年のイラストは某所員がたまたま写真を持っていたので、それを借りて毎度のようにトレースで作りました。今回のトレースは、過去にした作品よりも難度が大幅にUPしていて何倍も細かく難しい作品です。正直写真を見た瞬間大変そう難しそうとすぐ感じました、障害を持つ前の私はそんな難しそうで大変だと思えば直ぐに無理です。とやらなかったと思います。が、しかし辞めると言えば某職員が私の絵を好んでくれるお客様が~言うわ、等と言い出してやるように言ってくるだろうなと想像出来て、また邪魔くさい事になるなあと思いながら少しずつでも進めました。

色んな思いもありながら文句を叫びたくても口に出さず出来ない自分に苛々しながら少しずつ作業を続けてきました(涙)。よろしくお祈りします。

# あの頃企画・・・ 2023年 昭和への旅

## その八「五百円札」



同じ五百円でも硬貨と紙幣では、何かが違う?!と思った人は間違いなく昭和の人です(笑)。昭和38年当時の銭湯の値段が23円であることを考えますと、いかに500円が価値ある紙幣であったかがお分かりいただけると思います。子ども心にお財布に一枚持っているだけでどんなにリッチな気持ちになれたことか。令和の若い人にはわからないだろうな…。

\*-----\*

500円札を使っていたのは、自身が少年だったころで、今思えば、すごく懐かしく感じます。その500円札で、お菓子やジュース等を買っていたような気がします。500円玉に切り替えたのは、自身が小学校4～5年ぐらいで、最初に違和感を感じたのを覚えています。

(えき田大輔)

\*-----\*

みなさんは「500円札」をご存じだろうか?「昭和」という懐かしい時代を振り返った時にお札の違いを思い出す。今は、ほとんど見なくなった。平成や令和に生まれた人は、まったく見たことはないかもしれない。「岩倉具視(いわくらともみ)」の肖像画が描かれている。戦後の時代を象徴する貨幣(かへい)と言えるだろう。昭和26年に発行された平成6年に500円硬貨が登場するまで使われていた。子ども心に500円札をもらおうとすごくお金持ちな気分になったものである。

お金の価値は同じでも100円玉を5枚渡されるよりもお札でもらえる方がうれしかったのを覚えている。特にお年玉にお札で500円をもらえるとドキドキしたものである。本当に懐かしい。

(八木俊幸)



## イベント報告 Work's event

### ・・・ 夏の432市は暑かったですよ (笑) ・・・・・・・・・・・・・・・・

9月9日のほっこり (432市) は、みんな30分ほど早く来て用意も早く終わり、9時40分には、売れる段取りが出来てしまいました。午前中は、ソフトクリームも少しづつ売れていたのですが、昼からソフトクリームやワークスの自主製品もいろいろと売れ始めました。 椿森 信幸

### ・・・ 4年ぶりの納涼大会 8月10日 ・・・・・・・・・・・・・・・・

コロナ禍の影響で3年ほど見合わせていましたが、今年に入って、コロナも落ち着いてきて、そろそろやろうじゃないかと思い、4年ぶりに納涼大会を行うことになりました。今回は、伏見桃山にある黄桜カッパカントリーで、いろんな料理を食べながら、黄桜で製造されてる日本酒や地ビールを堪能してきました。久々のリアルで、みんなが喜んでくれたので、一安心でした。どんちゃん騒ぎきをしたり、日頃のうっ憤を晴らしたり、言いたい放題言ったり、みんな楽しくやっていたので、何より良かったです。こういう時を過ごすのも、凄く大切な時間ですし、また来年も何事も無く無事に納涼大会を行われることが出来たら幸いです。 嶺田大輔

### ・・・ 故郷の家の夏祭り 8月18日 ・・・・・・・・・・・・・・・・

コロナのせいで見送られてきた故郷の家夏祭りに、4年ぶりに行きました。夕方5時から始まるので、ワークスの仕事が終わる次第、ワークス号にソフトクリームの冷凍庫やその他の荷物を乗せていざ出発。アイスが乗っているのに到着後急いで降ろしました。売る物は、わた菓子、ソフトクリームとワークスで作った藍染手拭いやろうそく、風鈴や小物。途中、わた菓子機に突然火花が出たので?!、これは打ち切りました。わた菓子を求めて行列が出来ていたのですが、止むを得ず食べ物はソフトクリームだけになりましたが、それでも良く売れました。他の店もそれぞれ皆さん良く売っていました。故郷の家の出し物は、韓国民族の踊りや韓国民族の歌をステージ披露。それに、子供さんたちは夏祭りらしくスイカ割りや花火などもしていました。 椿森信幸



### ・・・ やっぱYDK所員でした (みみづくさんの顔をコロコロ変えた某職員) ・・・



## 聖林院みみづく便り ~願いは○▲□に綴られて~ maybe所員

驚きっぱなしのmaybe所員ワークスの凶形で面白い絵を描き続けている所員 (S.S所員) にmaybeが、maybeな癖に少し無茶ぶりをして△入りのイラストを書き出して貰いました。また更に無茶ぶりをして△の向きを変えた△ (▽や▷) で出来ないかと聞くと「大丈夫っすよ。」とってくれたので期待して待っていると今年年末に販売予定の2024年のカレンダーのイラストに△だけではなく▽や▷を使ったイラストを使えますよ。と自信たっぷりの返事を頂きました。もう期待しか出来ない所員だなあと感心しきりなとある日の聖林院のお庭。一応のところmaybe所員も生意気にもカレンダーのイラストは描かせて頂いています。

そんなmaybe所員の2024年のカレンダーは中々の大作でS.S所員ほどの面白い絵とは決して言えませんが、頑張ってるので1度ご覧頂きたいと思っています。

☆聖林院のお庭では所員達がまたまた染め作業をしている様子。みみづくさんはま〜るい笑顔に戻っていた。

# あしあと (2023年7月~10月)

- 07月07日 (金) 畑
- 07月08日 (土) 432市
- 08月01日 (火) 京都市バス研修
- 08月10日 (木) 納涼会開催 黄桜カッパカントリー
- 08月18日 (金) 故郷の家夏祭り・ホーム柵署名活動
- 08月24日 (木) 聖林院法要・アートフェスタ
- 09月06日 (水) アートフェスタ終了撤収作業
- 09月09日 (土) 432市
- 09月24日 (日) 聖林院法要
- 10月03日 (火) 京都市バス研修
- 10月06日 (金) 畑
- 10月10日 (火) エゴマのしょうゆ漬けづくり
- 10月13日 (金) ホーム柵署名
- 10月14日 (土) 432市

\*

**祝 入賞!!**



## 令和5年度 「京都とっておきの芸術祭」障害者作品展入賞

松田光博さんが、令和5年度「京都とっておきの芸術祭」(障害者作品展)写真の部で佳作に入賞されました。  
本展示は、日図デザイン博物館(みやこめっせ地下1階)で、  
12月1日(金)~12月3日(日)開催予定です。  
ぜひ、足を運んでみてください。

おめでとうございます。

### あ と が き 編 集 後 記 team BUG

皆が、会議で話してることを、本にして出したら、おもしろいな。(モンチッチ)

自立についてはまだ勉強不足です。大事な事はネットで書いてあると思いますが調べる事はしませんでした。もっとネットで調べると分からない事が全て書かれています。調べると出来ない事も書いてあると思います。勉強不足です。(鈴木翔太)

今回は、いろいろ行事に参加して、久々に忙しい充実した日々を送れているような気がします。ほかに、自立生活についていろいろ勉強させていただきました。昔の頃を振り返ってみて、いろいろ懐かしく感じる所がいっぱいできました。(嶺田大輔)

今号制作にあたり以前から行われていたBUG編集会議の回数と会議に参加する人数が編集者だけでなくワークスのメンバーが多数一緒に会議を行ったので、会議的にはいろんな意見が出て密な会議が行われたような気がする。そしてワークスのカレンダーも少しづつ完成し出す者も出てきている。今年のカレンダーとても期待できそうな感じである。23年残りも少ないけど最後まで頑張ろうと思う。(maybe所員)

## 姫のつれづれ日記

~秋がいく・・・~

demi

